

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

千葉県松戸市 松戸市立総合医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	34	対象	I 未 訓 ガ	救 臨 が 感 災 地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
498,473	47,021	非該当	7 : 1	

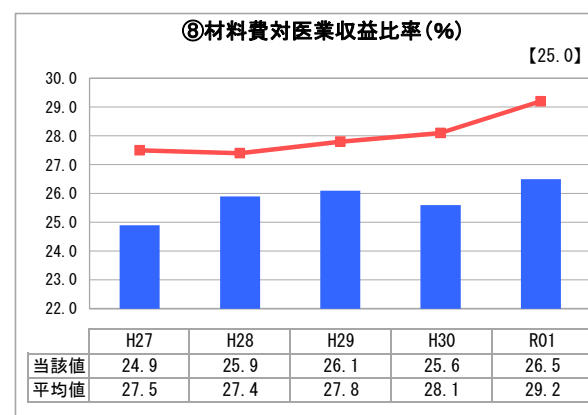
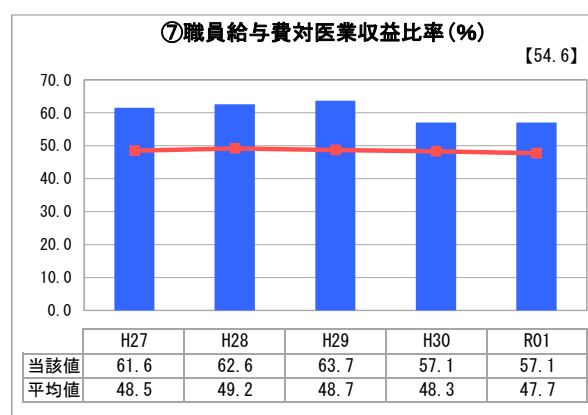
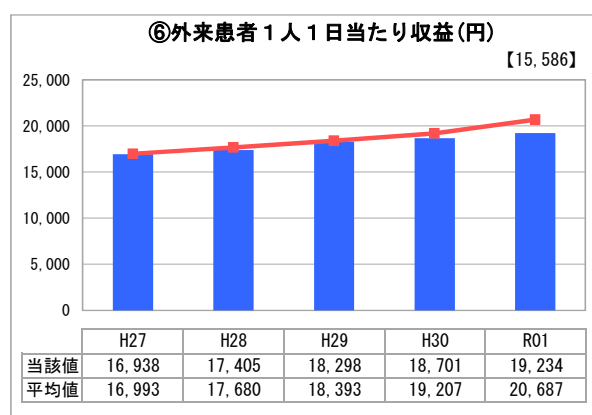
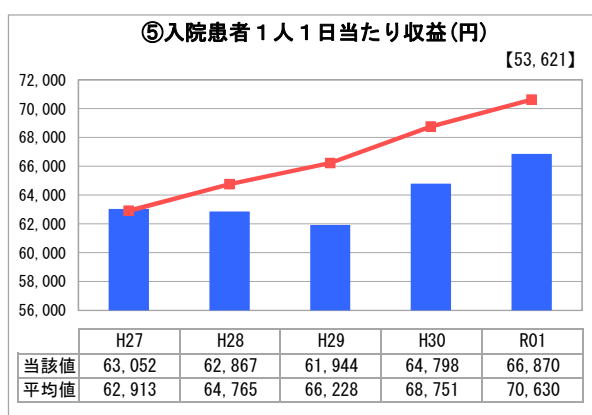
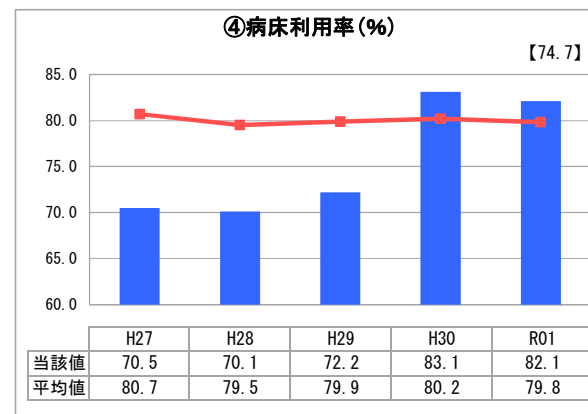
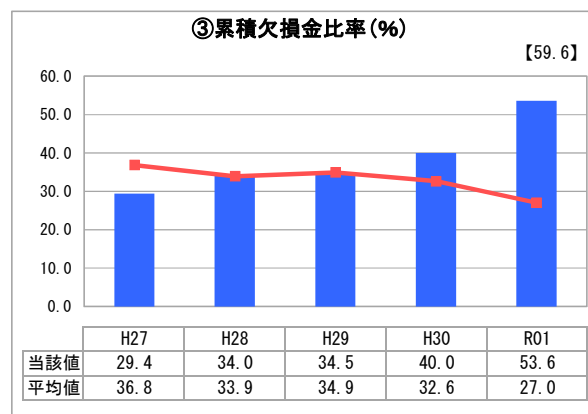
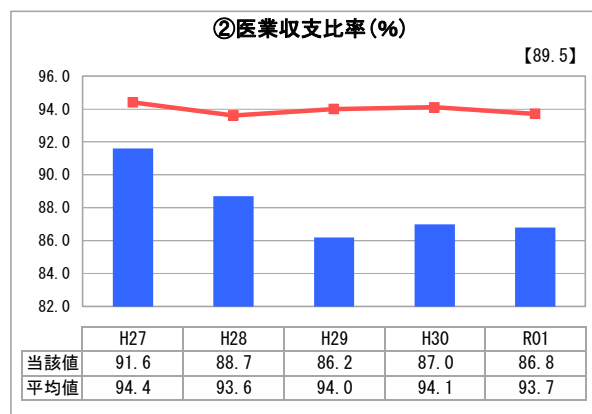
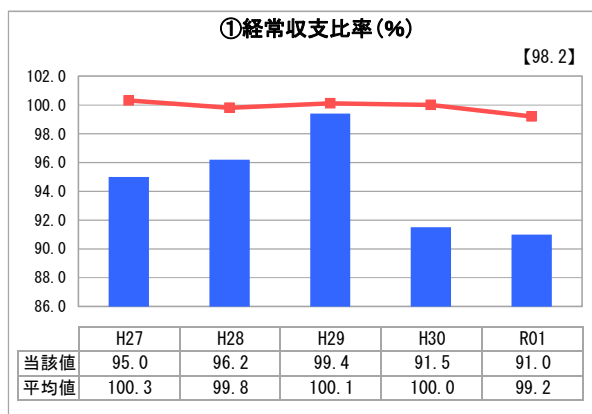
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

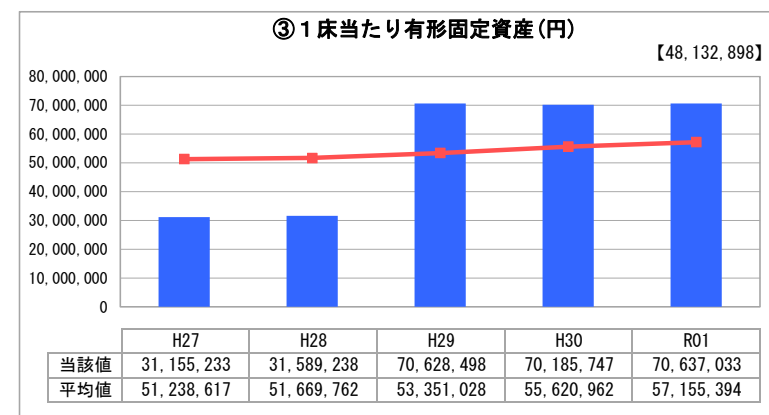
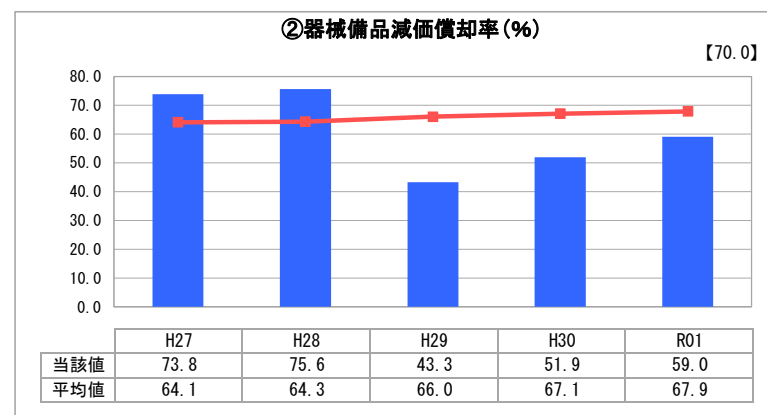
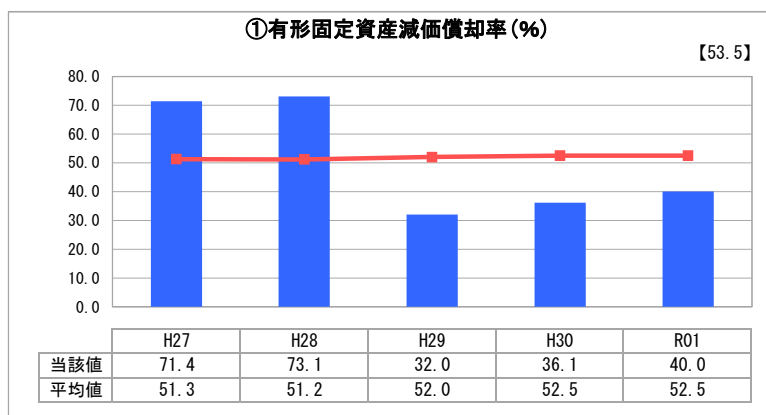
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
592	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	8	600
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
592	-	592

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-

## I 地域において担っている役割

地域の中核病院として、主に急性期医療を中心とし、一般診療のほか、3次救急や小児・周産期医療、特定疾患治療の充実を図るとともに、松戸市事業の夜間小児急病センターに医師を派遣するなど、市民への良質で安全且つ安心な医療サービスの提供に努めている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益面では、病床利用率は減少したものの、入院患者1人1日当たり収益、外来患者1人1日当たり収益の増により、医業収益は増収となった。  
費用面では、平成30年度から計上している新病院の新築移転に伴い発生した多額の減価償却費に加え、医業費用も増加となったが、医業収益の増収により医業収支比率、職員給与費対医業収益比率は前年度とほぼ同水準で推移している。  
引き続き、収益の増加及び費用の適正化に努め、収支の改善を図っていく。

### 2. 老朽化の状況について

平成29年12月に新築移転しており、有形固定資産減価償却率は平均値を下回っている。

## 全体総括

経営の健全性・効率性については、新公立病院改革プランとして策定している経営計画に基づき、救急医療の強化、地域医療支援病院機能の強化、手術部門の強化等の推進により、医療の質の向上を図り、患者数及び患者1人1日当たりの収益の増加を確保していくとともに、費用の適正化にも取り組み、経営改善を進め、地域への役割を果たしていく。

老朽化の状況については、平成29年12月に新築移転しており、建物及び医療機器等の老朽化の割合は低い。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。